

知ることが未来の力に——平和プラザ2019

平和をねがう 中央区民の戦争展

月島社会教育会館 4 階ホール
(地下鉄月島駅 10 番出口 中央区月島 4 丁目1-1)

入場無料

8 月 10 日 (土) 12:00~20:00

講演「しのびよる戦時体制—治安体制の歴史と現在—」
13:30~15:30

荻野富士夫さん(小樽商科大学名誉教授)



安倍政権下で、特定秘密保護法、安全保障関連法、共謀罪（組織的犯罪処罰法）など、戦争・治安に関する法案が次々に成立していますが、こうした動きは、治安維持法、国家総動員法、軍機保護法などを作り、戦争に突き進んだ戦前の日本を思い起こさせます。小林多喜二の研究家として知られ、『横浜事件と治安維持法』『母の語る小林多喜二』『特高警察』『よみがえる戦時体制』などの著書がある荻野さんが、戦前と今の時代の共通性をお話します。

8 月 11 日 (日) 10:00~16:00

講演「731部隊は中国で何を行ったのか」
13:30~15:30

奈須重雄さん(NPO法人731部隊・細菌戦資料センター理事)



731 部隊は、旧陸軍が 1936 年、中国東北部のハルビン近郊に「関東軍防疫給水部」を設置したのが始まりです。しかし、その実態は細菌兵器を開発し、実際の戦争に使うための秘密組織でした。石井四郎を中心とする有名大学出の医学関係者が、「マルタ」と呼んだ中国人、朝鮮人、ロシア人捕虜などを生きたままペストやコレラ菌に感染させたりする人体実験などを行い、約 3000 人が犠牲になったと言われます。旧陸軍はこの実験に基づき、日中戦争で湖南省や浙江省の上空からペスト菌を付着させたノミなどを投下し、1 万人以上の住民を殺害しました。犠牲者の遺族や被害者は日本政府を相手に裁判を起こしましたが、石井四郎をはじめ 731 部隊関係者はアメリカへの研究資料提出と引き換えに罪を免れました。今もベールに包まれたままの 731 部隊と細菌戦について、現地の被害の実態も調査している奈須さんがお話します。

主催:平和をねがう中央区民の戦争展実行委員会

問合せ先 090-4077-2282 福田 mail: Pcdepot091602@ozzio.jp



特別展「731部隊・100部隊」

プログラム

8月10日（土）

- 12:00 開場
- 12:20 オープニングイベント
朗読 新婦人中央支部
合唱 エーデルワイス（新婦人中央支部）
- 13:30 講演「しのびよる戦時体制」荻野富士夫さん（小樽商科大学名誉教授）
- 16:30 報告と討論「俳句弾圧事件と日本の司法制度について」夢道サロン代表
・殿岡駿星さん、「危険なオスプレイは横田にもどこにも要らない」羽村
平和委員会・奥富喜一さん
- 18:30 DVD鑑賞「証言3部作 侵略戦争・中国人強制連行・20世紀からの遺言」
（日本中国友好協会制作）

8月11日（日）

- 10:00 開場
- 11:00 DVD鑑賞「細菌戦部隊」（森正孝監督）
- 13:30 講演「731部隊は中国で何を行ったのか」奈須重雄さん（NPO法人細菌
戦資料センター理事）

主な展示

「731部隊・100部隊」「新聞はあの戦争をどう
伝えたか」「月島を愛した反戦・自由律俳人 橋本
夢道」「首都圏の米軍・自衛隊基地の実態」「辺野
古新基地は造れない、造らせない」「人権と平和に
ついて」「憲法9条が紡ぐ世界との信頼」など。

